

平成13年4月(2001年) No. 424

## 好天に恵まれた 柳川撮影会 無事終了

去る3月17日～18日(土・日曜)に行われた柳川ひな祭り撮影会は23名の申込者全員が揃い、無事終了することができました。17日はあいにくの曇空で小雨さえ降るという天気でしたがひな祭り水上パレードの日は、朝から晴れわたり絶好の撮影日よりとなりました。

初日はあいにくの天気でしたが、舟下りをしながら明日の本番へ備えてロケハンとなり、下船後は沖の端にて北原白秋生家やお花、そしてひな飾りを飾ったお店などの撮影をして、夕方駅前のホテルに入りました。その夜は近くの料理屋で懇親会があり、有明海の珍味に舌つつみを打ちました。

2日目は朝食7時で食事後、駅のロッカーに預けてタクシーに分乗、沖の端へ直行しました。10時からのイベント開始までに、準備風景などを撮影、10時神事と歌などがあり、11時いよいよ華やかな水上パレード開始。诗情豊かな柳川ひな祭りの風情を心ゆくまで撮影を楽しみました。

■撮影場所を分担：大きな祭りを一人で撮影するのは、ほとんど無理です。そこで今回は持ち場を分担してポイントを撮り損じることのないよう、協力体制を組み、一応うまくいったと思います。撮ったテープは3～5分程度にまとめ、藤原さんが1時間テープに仮編集し、提供者全員に配布しました。この成果は5月例会で公開コンテストで競い合うこととなりますが、提供テープをうまく活かして良い作品を作ってください。期待しています。

### 4月例会と研究会のお知らせ

4月例会は第4土曜日28日18時より、阿倍野市民学習センターにて行います。月1度の楽しい例会へご出席お待ちしております。今月は偶数月ですので、13時30分より**作品研究会**も行います。会費は会場費500円です。撮影会作品を含め、皆さんからの助言や批評を聞きたいとか初心者の方など、どうまとめたらよいかアドバイスして欲しい等の作品など遠慮なくご持参ください。また例会では一寸気が引ける、といった変わった作品等も期待しています。作品研究会を大いに活用しましょう。

## ■コンテスト入賞おめでとうございます

このほど行われた大阪市視聴覚教育協議会主催の第3回ビデオメッセージコンテストで下記の方々が入賞されましたので、お知らせします。

大賞 課題部門 都会のオアシス 安居良枝さん

大賞 自由部門 ネパール民謡 レッサムフィリリに寄せて

西村光雄さん

特別賞 自由部門 “よさこい” ってなんですか 安居利次さん

入選 自由部門 高野山 増池 茂さん

全入賞者10名の内、OMCが上位3賞をはじめ4名の方々が入賞されました。これは OMC のレベルの高さを評価されたものと、誠に喜びにたえません。あらためて、おめでとうございます。

■公開映写会のお知らせ：第29回京都映像フェスティバル：4月18日（水）午後6時：京都府立文化芸術会館（河原町広小路角・府立病院前）

■新入会者：進藤信男さん

〒562-0022 箕面市粟生間谷東6丁目8-11 TEL 0727-28-5836

E-mail fwgi9171@mb.infoweb.ne.jp nifty BZR03465

コメント：ビデオの撮影はやっていますが、編集まではまだやっていませんので、これから勉強したいと思います。よろしくお願いします。

## 3月例会レポート

3月例会は新入会者を含めて27名の参加をみて、補助椅子を他より調達するほどの盛会でした。暖かさも一段と進み、外出しやすい季節のせいかも知れませんが、月一度の例会ですから、大勢集まって二次会も含めて楽しくやるのもいいものです。4月例会にも大いにお集まりください。さて、3月例会は司会は合原氏、書記は関氏、デッキ係は奥氏に応援の藤原氏、受付兼照明係は増池氏によって会を進行しました。

■出席者：有村、奥、今井、河合、合原、岡本、関、久一、華岡、藤原、吉岡、増池、西村、安居夫妻、那須、江藤、森、江村、金子、松本、前田、森田、高田、宮崎、中尾、進藤（新入会者）以上27名（敬称略）

■上映作品（今月の講評は関世話役です）

### 1. 雪まつり

10分

有村 博さん

年々規模が大きくなる札幌の雪まつり。その雪像も精緻を極め、なかには芸術的存在 感に満ちた物もあり驚かされた。さまざまな雪像を客観的に撮ってあるので、ナレーションなしでもよくわかる。

「雪まつりは今年で何年目」とか「札幌の人口がなんぼで観光客が何人」より、地面の雪をスコップで切り刻んでいるのはなぜか。ノミで雪像を削っている外国人は制作が 会期にずれ込んだのか、それとも補修中なのか。説明があってもよいのはむしろこっちの方だと思うのだが。

### 2. なごり雪

4分25秒

増池 茂さん

珍しく降った雪の日の大阪天満宮。社殿のシルエットを背景に斜めに落ちる雪がきわだって美しい。ちょっと降っては止み、またつぎに降るまで長い時間待ったというから、これは作者の執念が突った映像だ。ただ曲が変わったあたりから、やや中だるみの感がある。撮影順につないだというのが表現の成否は編集感覚できまるもの。雪の少ないところからはじめて、どんどん降る場面をヤマ場にもってくるとこの作品は良くなると思う。

### 3. 初春の花

7分50秒

安居良枝さん

長居植物園の水仙、菜の花、梅がテーマだが、水仙がギリシャ神話に展開するとは。これは安居さんにしかできない発想だろう。ところが菜の花と梅はごくありきたりのナレーション、つまり二段構えの内容になってしまった。

序盤は幼稚園児がたくさん出てきて活気があったが終盤はなにか尻すぼみの感がしないでもない。再編集をお薦めしたい。

### 4. 大阪の自然史

8分10秒

安居利次さん

長居公園内にある自然史博物館。昨年秋、筆者も行って見たが“へー…、大阪の昔ってこんな風だったか”ぐらいの感慨しかない。あそこを訪ねる人の大部分はその程度だろう。ところが作者は違った。丹念に展示物を撮り、文献を徹底的に調べあげて一端の教科に仕上げてしまうその制作姿勢には頭がさがる思いだ。「展示資料主体で自らの映像が少ない」との指摘もあったがそれは仕方のないこと、むしろりっぱに通用する教育映像として評価したい。

### 5. 菜の花の咲く頃

8分31秒

河合源七郎さん

京都府美山町、かやぶきの里。雪のシーンに始まり、祭りと人々の集会、盆踊り、秋の風景など、題名とどう結びつくのか不審に思っていたら、これがなんとイントロだった。そして茅葺きの民家を中心にこの町の文化と自然と共に暮す人々を追い求め、ひとつのシリーズに仕上げるという遠大な計画を知らされた。当然ながら観光気分では対処できるはずもなく、ときには長期間泊まり込んで住民との意思疎通も必要になってくる。たいへんだが、ぜひ完成させていただきたい。菜の花は画面に出てこないが、この題名は季節を象徴していると筆者は理解した。

### 6. 早春の柳川ひなまつり

8分20秒

那須典彦さん

撮影会から一週間で早くも出てきた雛まつり。川下り、さげもん、お雛さまパレードが分離していたのでまだ未完成と思われる。5月互選会の出品作に期待したい。

### 7. 奥殿の電飾

3分33秒

江藤洋司さん

奥殿とは作者がお住まいの岡崎にある地名。クリスマスに地域住民がそれぞれの家庭で飾ったのを撮影したもの。POLICEの文字で交番の所在は判るが、あとはロングによる撮影と絞りを0にこだわっているの、どういふところに飾られているのか、その土台が判然としないが残念。夕方、やや明るさが残っているうちに撮影をはじめたら環境も判ってよかったのだが。

### 8. 道明寺天満宮

4分38秒

江村一郎さん

梅が主題だが、巧みに人物を配して飽きさせない。とくに野点では、和装で威儀を正した亭主と茶を授かる普段着のおばちゃんの、作法以前とも見えるその対象が妙。作者独特の野性味がないとの評もあったが、この素材ならこれでいいのではないか。

### 9. 島の白糸物語

11分15秒

藤原純三さん

冬は素麺、春は冷麦、夏はうどん。小豆島の特産・乾麺の「できるまで」をじつに判りやすく見せてくれる。普段はめったに発表しない作者だが、出てくる作品はかならず確かな骨格によって完成されているのには舌を巻く。これがわずか一日で撮影されたとは、まさに驚きというほかない。

### 10. プーケットで潜水

9分

森田光春さん

タイのリゾート地で優雅に海中遊泳。しかし作者自身が撮った海中映像にはさまざまな生きものが色鮮やかに…、とはいかなかった。なぜかモノトーン調。ご本人によると水深5メートル程度までなら色はだせるが、今回のよ

うに30メートル近くになるとライトがなければ無理という。ならば、なぜもっと浅いところで美しい映像にできなかったか。理由は聞けずじまい。

それはともかく、水深30メートルはものすごい水圧のはず。作者がこんな特技をお持ちとは意外な発見だった。

### ■インターネット関連

このところ毎月のように書いていますが、高速インターネット（ブロードバンドともいう）への取り組みが一段と高まっているように見られます。現在一般家庭でも導入できるのは、高速インターネット（CATVとADSL:1.5Mbps前後）であり、目下試験的に東京・大阪の一部で実験されているのが超高速インターネット（光ケーブル：光IP通信:10Mbps）は、近い将来の本命となるであろうといわれています。光ケーブル方式によるインターネット映像は、テレビと比較して遜色がないといわれていますが、CATVとADSLはどう頑張ってもテレビほど大きくて綺麗な映像を配信することは難しいでしょう。

一方現在主力のISDN（64Kbps）による映像は画面も小さく、画質も悪く映像を鑑賞する雰囲気にはほど遠いのが現状です。従ってアナログ（実質34Kbps, 28Kbps）による映像は押して知るです。そこでブロードバンドの急速な普及が望まれるわけですが、ネットサーファーの中には“そんなに早くなくてもいい、今のままで充分”という意見があるのも事実です。それに対して3月31日サンケイ朝刊には興味深い記事が載っていたので、以下に抜粋を紹介すると。

### ★ISDN（総合デジタル通信網）、DSL（デジタル加入者線）、光ファイバー。 どう違うのか、試した。

東京都武蔵野市のNTT武蔵野研究開発センター。その三種類の通信回線を接続した三台のパソコンで、同じ画像をダウンロード（取り込み）してみる。ISDNで一枚取り込む間にDSLは八枚、光ファイバーは二十枚取り込めた。次にラグビーの試合のビデオ映像を受信した。ISDNでは完全なコマ送り、DSLではぎくしゃくするが、光ファイバーはテレビ映像とまったく同じだ。光ファイバーは、電話回線の数百倍から数千倍の速さでインター、ネット接続できる。その「速さ」は一目りょう然。「いまの技術では、テレビと同じ感覚で動画を見られる通信回線は光ファイバーだけ」と、NTTの田中公妃・光ソフトサービス推進プロジェクト統括担当部長はいう。電子メールやホームページで文字だけ見るなら、一般の電話回線でもそれほど不便はない。しかし、デジタルカメラやビデオの急速な普及から推測できるように、「これからの、ネットはデータ量の多い画像や映像の送受信が中心になる」のがネット業界の常識。日本のIT革命を担う高速通信回線の「本命」に光ファイバーが期待されるのは、このためだ。……………（後略、続きはINTERNETニュースで…………）

### VIDEO 3月のインターネット例会作品介绍

「大阪の自然史」安居利次作品（画像をクリックしてください、スタートします。）

No	Real Video5.0	for ISDN modem	2752KB 8分10秒
1			